

# こまどり 君

## 説明書

(V1.9用)

## [起動画面](#)

## [Bluetooth接続](#)

## [録画準備画面](#)

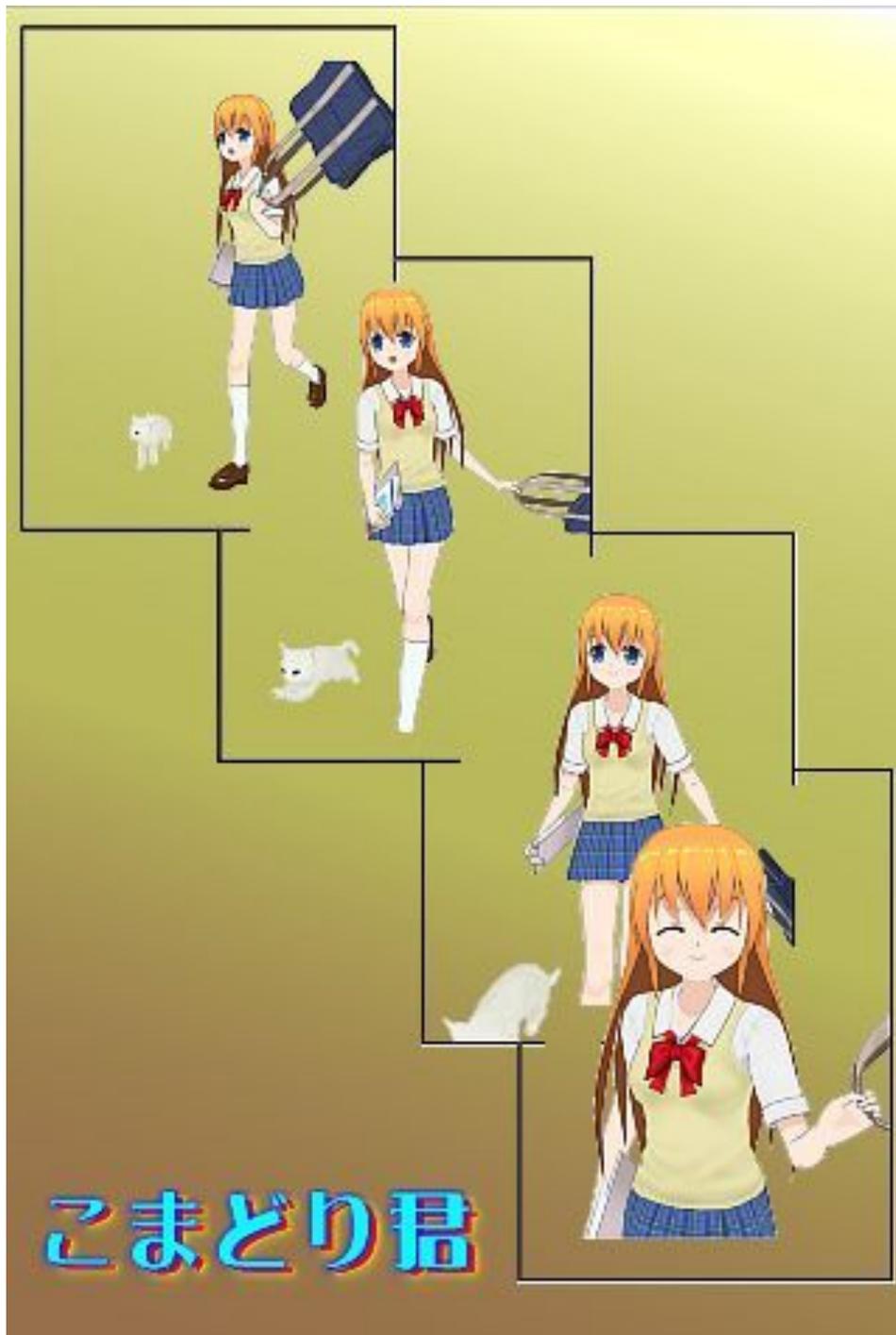
## [録画中画面](#)

## [リモコン画面](#)

## [設定](#)

## [OS内設定](#)

## [仕様](#)



「こまどり君」はカメラ付きPod touch / iPhone / iPadで写真をこま撮りし、つなげて**動画にする**アプリケーションです。

普通の動画と異なり、撮影間隔を長くすることで、**長時間の録画**を可能にしています。これにより、アニメ撮影現場での簡易チェックや定点観測などにも適しています。

録画した画像は**AVIのMotion-JPEGファイル**としてアルバムに保存されますので、標準の「写真」アプリで見るほか、そこからメールで送信したりこのときはMOVファイルに自動変換されます)、デジカメと同じ要領でPCに取り込むこともできます。

# 起動画面

起動画面では、最新撮影画像とその日時が表示されています(前回起動分)。



Bluetooth接続中  
を示すアイコン

最新録画画像

最新録画日時

直前録画枚数  
前回の録画時に撮  
影した枚数です

説明書

設定へ

**必ず最初に設定してく  
ださい。**

Bluetooth接続時はリモコンモードへ

録画準備画面へ

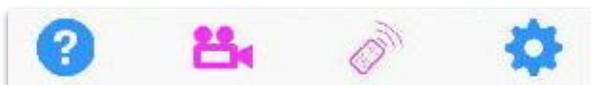
# Bluetooth接続

こまどり君をインストールした機械が2台あり、設定で 接続をオンにすると、それらをBluetoothで接続して遠隔操作で撮影することが出来ます。これを「Bluetooth接続モード」と呼びます。

この時、録画する側を「レコーダー側」、アラーム発報もしくはシャッターを押す側を「リモコン側」と呼びます。リモコン側で撮影ボタンを押したとき、レコーダー側にアラーム設定がある場合はそれがアラーム発報となり、また1ショット録画設定の場合は、シャッターボタン押下となります(常時録画設定しかないときは撮影ボタンは無効です)。

Bluetooth接続モードは以下の手順で設定します。

(1)設定で Bluetooth 接続をオンにする。録画準備ボタンの色が変わり、リモコンボタンが有効になります。



以下は録画側とリモコン側で手順が分かります。

## -- 録画側 --

- (2)録画準備ボタンを押します。
- (3)リモコン側からの接続要求を待ちます。
- (4)要求が来たら「承認」します。



## -- リモコン側 --

- (2)リモコンボタンを押します。
- (3)近くの接続できる機体を探し始めます。



見つければリストが出てくるので、コマドリ君を選択します。

(4)選択すると、相手側の接続承認を待ちます。



(5)接続が完了すると「接続済み」が出るので、完了を押します。



まれにつながらないことがあります。その時はいったんキャンセルして再度接続するか、アプリを再起動してください。

(6)これでBluetooth接続が確立します。接続モード中は画面左上に



示されます。このボタンを

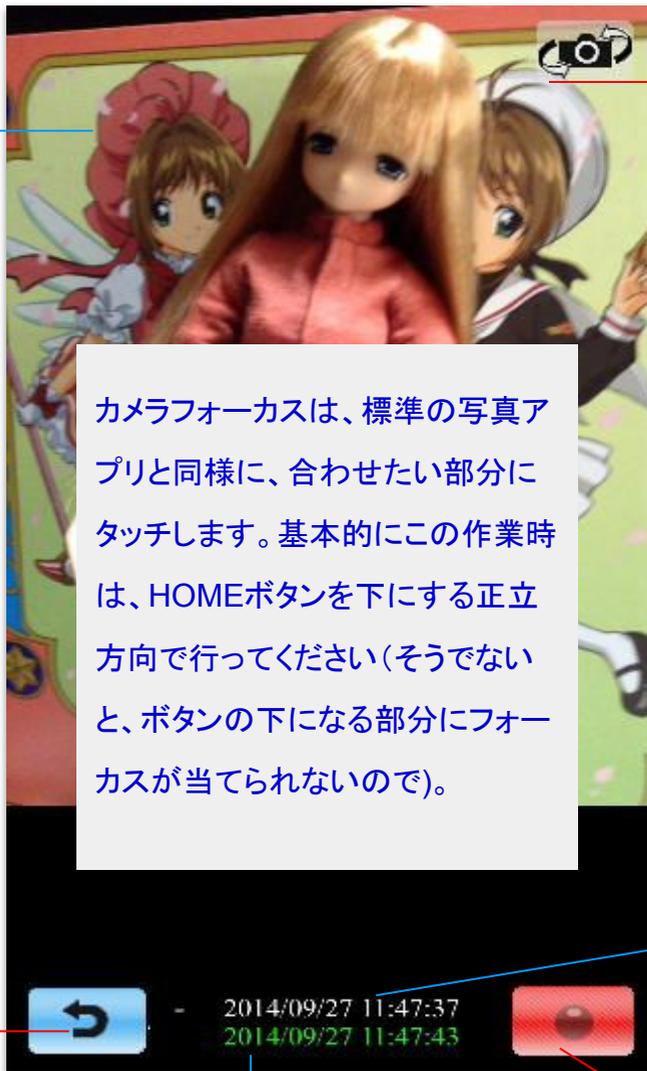
押すと接続解除されます

**補足：V1.5までと接続方法が大幅に変わりました。**

# 録画準備

ここでは現在のカメラ映像が表示されます。ここで画角、フォーカス合わせ、画面の縦横、前後カメラの切り替えを行います。特に、画面の縦横、カメラ切り替えは録画を開始すると変更出来なくなりますので、注意してください。

現在映像  
(ライブ)



前後カメラ切替

(前後両カメラがある機種のみ)

これは一時的な切り替えなので、次回録画時には設定のそれに従います。

起動画面に  
戻る

現在日時

最新画像日時

録画へ

# 録画中



現在映像  
(ライブ)

最新録画 画像日時

ただし、最初の1枚撮影までは、録画に入った時間を表示しています。

現在日時

録画終了  
録画準備へ戻る

nショット撮  
影ボタン

1ショット撮影ボ  
タン

「等間隔録画」の「録画間隔」で「1ショット録画」に設定すると、1ショット撮影ボタンが現れます。これを押しごと1枚録画されます。

「nショット録画」の「録画間隔」を設定すると、nショットボタンが現れます。これを押し、設定枚数録画して自動停止します。

機体が上下向きの時は録画されません(盗撮防止)。また、画面上に  表示されているときは、録画が出来ません(上下向き、および抑止中のアラーム発報時)。

Bluetooth接続モード中もレコーダー側は通常操作ができます。

# リモコン画面

Bluetooth接続時は、片側を録画準備(=レコーダーモード)にすると、他方が自動的にリモコンモードになります。

リモコンモード側には、シャッターボタン系と停止ボタンしかありません。なお、こまどり君においては、「1ショット」または「nショット」が有効になっていないと、リモコンを使う意味がありません。

Bluetooth接続時は、リモコンボタンが有効になります。



リモコンには、シャッターボタンと停止ボタンしかありません。

## レコーダー側が録画準備中の時

レコーダーモード側が録画に入るまで、シャッターボタンは押せません。このとき停止ボタンを押すと、レコーダー側は起動画面に戻ります。その場合も、接続モードは維持されます。

## レコーダー側が録画中の時

レコーダーモード側が録画に入ると、シャッターボタンが押せるようになります。1ショットボタンを押すと、レコーダー側で1枚撮影されます。nショットボタンを押すとnショット録画されます。



停止ボタンを押すと、レコーダー側は録画準備に戻ります。

# 設定

設定を保存します。

**保存** **設定**

**全般**

📶 接続

カメラ **背面** 前面

フラッシュ **オフ** 自動 オン

**等間隔録画**

画質 **低** 標準 高 超高

録画間隔 ⓘ >

**nショット録画**

画質 **低** 標準 高 超高

録画間隔 ⓘ >

録画枚数 ⓘ >

nショット個別ファイル化

**その他**

再生速度 ⓘ >

1動画ファイル内画像枚数 ⓘ >

Bluetooth接続を 可能にします

(前後両カメラがある機種のみ)

(フラッシュがある機種のみ)

画質を下げると多くの枚数が記録できます(低画質で高画質の約2倍)

録画開始後、一定時間間隔で録画する、その間隔と画質を設定します。シャッターボタンを押すたびに1枚録画する「1ショット」もここで設定します。

ボタンを押すたび指定枚数の録画を行う「nショット」に関する設定を行います。

「nショット」録画のみ設定されている場合に限り、各nショット録画を別ファイル化します。

動画ファイルの再生速度を指定します

1動画ファイル内に格納する画像枚数を指定します。

AVIファイルは大きさの制約があるため、長時間録画の場合、枚数によって分割する必要があります。そのためこの枚数を指定します。録画間隔×この枚数が、1ファイル内に録画される実時間となります。

# OS内設定



バージョンです

操作音/録画遅延時のカウントダウン音の設定をします。一部画面では、この設定にかかわらず音が出ます(iOSの仕様)。

アプリ起動音を鳴らすかどうか設定します。

OS設定の自動ロックが「しない」でないときにも、スリープしないようにします。



iOS8では「プライバシー」にてカメラおよび写真へのアクセス権の設定が出来ます。両方ともONにしてください。

# 仕様

1. 録画された画像はAVIのMotionJPEG動画としてアルバムに保存されます。画像は以下の条件で分割されます。
  - ◎「1AVIファイル内画像枚数」で指定した枚数ごと
  - ◎録画停止
  - ◎HOMEボタン押下時なお、「写真」からメール送信した場合、自動的にMOVファイルに変換されます。
2. このアプリケーション自体には画像の再生機能はありません。写真アプリケーションで再生してください。
3. 保存された動画は、PCに接続することで吸い上げることが出来、QuickTime PlayerまたはMS-MediaPlayerで再生可能です。後者では字幕で日時も表示できます。
4. 標準の「写真」アプリで表示される時間は、録画時間ではなく、「再生に要する時間」です。
5. シャッター音は消せません(iOSの仕様)。
6. 画素数は640\*960固定です。
7. 前面カメラで撮影すると、撮影後の画像は左右が逆になります。これはiOSの仕様です。背面はそのままです。
8. カメラのオートフォーカスがかかると、録画間隔がずれることがあります。
9. 初回録画時には、以下の確認をしてくる場合があります。「OK」で許可してください。

